社説

浪速艦の歸航

近着の電報に據れば浪速艦は去る七日布哇を發して歸航の途に就きたるよし多分來る二十日前後には無事に歸着するみとならん初め同艦が特別の任務を帶びて横須賀を拔錨したるは四月二十日にして爾來殆んど五箇月の間ホノルヽ灣頭に碇泊して我國威を示し又我在留官民の後楯と爲りて其心を强からしめたる功能は蓋し少なからざるみとならん特に艦長黒岡氏は軍事に熟するのみならず兼て國際の法に通じたる人のよしなれば在留中他國の艦員に接し布哇の官民に交るに坐作進退みな宜しきを得て自から我帝國を重からしめたるみとなる可し其勞は我輩の敢て多謝する所なり世間には同艦の派遣に付て異議を唱ふるもの少なからず米布合併問題の俄に頭を擡げたるは日本が浪速を派遣したるが故にして兼て時機を待ち居たる兩國の合併論者は之を以て善き口實と爲し日本は布哇に對して敢て野心を逞うせんとす其證據は近來の擧動に徵して明なりとて四方に說き廻はりし爲め米政府も最早や默視する能はず急に合併條約に調印したるなりとは一派の論者が主張して止まざる所なり如何にも合併論者の中には之を口實としたるものもあらんなれども米國の政治家は浪速の進退を以て日本の野心を卜するほど淺墓なる者に非ず米人果して日本を疑ふみとあらば其疑は必ず別の事情より來れるものにして一朝俄に發したるものに非ず若しも合併が成るものならば浪速が往かずとも成る可く成らざるものならば往くも成らざる可し其進退は事の大局に影響ある可らず且つ浪速派遣の目的は主として我居留民保護の爲めにして彼の不法なる移民拒絶を見て日本人の激昂一方ならず布哇の人心も恟々たりしみとなれば如何なる間違を生ずるやも知る可らず此際一艘の軍艦を派遣して萬一の變に備ふるは至當の處置にして怪むに足らず而して又今回同艦の歸航に付ても世間或は疑を抱く者あらん布哇問題は未だ落着せず仲裁々判に付ては我より條件を提出したるまゝ彼の政府よりは未だ判然たる返答なきもの〻如し浪速の派遣は一面に於ては居留民保護の爲めなれども他の一面に於ては我外交官の後楯と爲り首尾よく談判を落着せしめんが爲めなり然るに今中途にして之を呼び戻すは其意を得ず初めより派遣せぬならば夫れまでなれども既に出發せしめたる以上は何とか極りの付くまで滯在せしめざる可らずと云ふものあらんか自から一說なれども當局者に於ても亦必ず說あるみとなる可し即ち彼我の人心も時日と共に靜穩に歸して此點に就ては最早や何の心配もなきのみならず同艦の滯在は凡そ三箇月の豫定なりしに次第に遷延して殆んど五箇月と爲り此上尙ほ幾月を經て談判落着す可きや豫知す可らず別に爲すこともなく絶海の孤嶋に滯留する士卒の無聊に苦むは勿論或は其艦底に牡蠣など生じて腐蝕するの虞なきに非ず兎も角も一旦呼び戻す可しとて扨は歸航を命じなるものならん强ち無理と云ふ可らず要するに議論は孰れの方面よりも立つ可し要は唯實際の成功如何に在るのみ若しも首尾よく我權利を全うするを得ば浪速の派遣も其歸航も皆至當の處置として世の稱贊を得べしと雖も萬一失敗して談判は我國の不利に歸し且つ合併いよ〳〵成就せば當局者の進退は總て機宜を失したるものとして批難せらるゝも申譯ある可らず左れば一是一非の世評に顧着せず專ら力を彼の局面に用ひて單に表面より談判するのみならず裏面よりも十分に運動して今日批難の聲を化して他日稱贊の辭たらしめんみと我輩の切に希望する所なり

○民政の壓制（五）

假令ひ所謂る「人の先に立つ市民」若しくは仁慈者流にもせよ凡そ人民の何等の一階級をして人民へ向て特別の支配權を行はしむるは全く不適當なり畢竟、是等の有名市民及び仁慈者流が德の府にして其德が彼の近代民政の最大危害として一般に認められたる無教育の貧乏人の中へ幻妙不思議に散布さる可しと云ふ假定は是亦實に驚く可き妄念なり其妄を證するには種々樣々の事實ありと雖も今手ッ取り早き著明の一例を擧れば市民の人命を重ぜざる事是なり北米合衆國西部に行はる〻支那人虐殺及び謀殺、並に同南部より北部へ漫延せし所の濫法的私殺は正に之を證明するものなり

政治的管理府の一形としての民政より何等他の壓制政治になき功德を得んとするは無理なる注文なり一人の政府及び僅數者の政府と同樣に多數者の政府は社會を結晶せしめて以て其成長を挫折するなり凡そ自由を制限せんが爲めの各法律と之を執行せんが爲めに任ぜられたる各官吏は即ち社交的生活を拘束して不具ならしめ仍て以て其原素の雜駁と此生活の興味とを奪去る道具なり擬みの硬く究屈なる民主政治と之に伴ふ道德の混亂、實業の麻痺とに向ひ行く傾向は既に已に痛ましきほど明白と成れり抵抗す可らざる勢を以て南北戰爭と共に出來りし中央政府の中央集權は宛然疫病の蔓延するが如く州及び市の施政に傳染し之と同一の精神は政黨社會にまでも押及ぼして諸政黨をば完成の度及び壓制の度に於ては殆んど軍隊に彷彿たる有力の機關に化し去りたり又みの精神は勞働者と資本者とを虜にし兩々相敵視して慘極まる爭鬪を爲さしめ商賈人及び專門業者の區域にも侵入して彼等の内に不容と壓制の最も忌憚す可き徵證を現ぜしめたり否みの精神は交際社會にさへ侵入して厳然、孤立して他人を容れず之に對して傲慢の態度を執り形容を張りて誇大壯麗の裝飾を要する幾多の組合を生ぜしめたり

斯る性質の祕密組合は一々擧るに遑あらず殊に甚しきは「ニウ　デザーランヅス」の和蘭貴夫人協會の女王」戴冠式に關する或日刊新聞の記事にして其言に云く「殆んど帝王の盛儀に等しき盛觀の企てらる可く當選貴夫人は戴冠式の日に於て六頭の白馬の引ける美大なる馬車に乘りつゝ其居宅より式場へ赴き橙色の手綱と同じ色の花を以て裝飾せらる可し」と

國民が一旦斯る組織の網に引絞められて其組織の各部分が權利の侵害若くは特權の惠與に據て存立する法律の爲めに動かす可らざるものと成れるに於ては該國民は化醇の極端に達したるなり社會は不動不進の狀に陷りて人民は即ち貪慾、飽くなく欺罔、耻づるを知らず野蠻組織の劣等人種と成るなり

北米合衆國に於ける斯の貪慾、飽くなく欺罔、恥づるを知らぬ野蠻組織の精神は彼の保護的立法を求むる所の種々の商賈及び職業に於て又昨年の冬、歳入委員の前に提出せし關税乞食等「タリフ　ベッガーズ」の擧證の言葉に於て既に已に其證徵を現はしたり畢竟彼等は其同胞即ち被害者に對して掠奪が其行く道に餘念なく遊び居る赤子に對するよりも多くの情を示さゞるなり眞實開化したる人民は彼の千八百九十年にマッキンレー案を實行せしが爲め或數千のウェールスの葉鐵細工人と墺地利のボタン製造人をして職を失はしめしが如き立法を決して許容し能はざりし筈なり

政府も亦腐敗して能力を失ふの極、唯是れ壓制と奪斂とを本職とする一大機械に成り果てたり斯の如くして自由民政は羅馬若しくはブールボンの壓制政治に化して外來野蠻人の闖入若しくは大革命の如き激動を與ふるに非ざれば昏睡を醒まして生命を繋止むる能はざるなり

宗教的壓制體が寛容の性質を缺けるは誰も具に知る所なり然れども政治的壓制の事はさまで想像されて非ず殊に民政に於ては最も此弊あり商賈團結の不容、政黨體の不容若しくは此兩者の外國人移住に對する不容は合衆國に於て甚だ著明の證徵にして充分、國の退歩を證するに足れりと雖も是等は暫く論ぜず爰に最も甚だしきは大學校に自由貿易の教授を寛容せぬ不容にして之が爲め例へばカンサス州の如きに於ては民主黨主義に反對する博士を大學校より排除し又みの不容は官定の南北戰爭史を公立學校にて教授せんみとを要求せり此調子にては若しも麥の生產及び分配が政府の仕事となりたらんには之に關して制定されし「官」の意見が恰も關税及び運賃に關して制定されしもの〻既に發せられしが如く續出して斯る意見の教授を合衆國中總ての州立學校に要求せらる〻みとあるも怪むに足らざるなり尙ほ之よりも更に愕く可き不容の一例はニューヨーク市外に於てはニウヨーク州中、最も大にして最も有力のレパブリカン黨機關新聞紙なるローチェスター府のデモクラット　アンド　クロニクル紙上に出でし論文に於て發見す可し即ち此論文は普魯斯國會に出されし所の彼の政府若しくは普魯斯制度の批評を禁止せんとする方策の精神と同一の精神を示して論ずるやう「凡そ大學校の校長は大學博士の米國の歴史を卑下して我政府の仕組を誹謗する者をば若しも必要に迫られなば腕力と武器とを以て追出す可き充分の權力を所持す可き筈なり近年、我國の大學校の内には歴史及び政治に關して厭世主義を教授し以て亞米利加制度に對する心狹き批評者を釀出せりボウドイン大學校の卒業生イー　エー　スクリブナーと云ふ人はサン新聞に投書して國中の各大學校に『米國的愛國』の椅子を置かんみとを勸告せり斯る椅子を置く必要は幾多の學校に於て之を見るなり」と

〔米國的愛國博士とは思切たる新工夫にして愚と云はんか狂と云はんか抱腹絶倒の外なし斯る事の有樣にては民政の自由何處にかある言論の自由何處にかある俗衆の壓制、爰に至て極れり〕

（大尾）

○植物學上

「いてふ」の樹は世人の
產物にして他の國土に
學上の定說に據れば同
たる物にして時代の變
に本邦及び支那に遺り
は決して種子を繁殖す
生する土地を發見する
大發見と稱するに足る
なる植物學者の研究に
に歐米各國の植物學者
し帝國大學植物學教室
邦特產物なるを以て是
とて教授松村任三氏の
めて研究に從事したる
同樹は精蟲の作用によ
し微いて本年また〳〵
成蹟に據れば今日迄の
科若くは「いてふ」門と
に至れり爰に又此發見
爲したるは農科大學助
昨年種子嶋に於て「そて
實を結ぶものなるとを
て目下研究中のよしな
して別に科門を設かざ
は本邦植物學者の名譽
付ては非常に注目し米
の植物を擇んで研究せ
め既にその略報を彼の
ふ蓋し精蟲作用に依り
き下等植物には通例の
ち今日まで「いてふ」を
る例なくして皆雄蘂の
を常とす左れば歐米右
て科門を分つを至當な
蟲作用に依らざるもの
由し決して例外のもの
分類法の大綱にして現
エングラー氏の如き
蟲作用に依るもの」「
を有する名稱を創定し
適切の標識なりと云
て有益なる實驗發明を
發見に付ては同氏が折
あはれ徒勞に屬して壓
ものあるに至りたるは
るもの與に吾が植物學
きみとなれ

○富士艦の阿丁

事阿丁に着したる旨同
へ達し引續き同日午後
旨電報ありたるよし是
坡、香港、上海を經て
坡より直航するやも知
電報に富士艦が本月下